

《第130回》 令和六年四月の作品

〈四月十二日（金） 於・文京シビックセンター5D〉

花散るや心の塵を落とすやう (一江)

酵母パンほどよく焼けて春の朝 (前歩)

囁りは夢か現か二度寝せり (孝昭)

野鳥の森

縄張りの声張り合うて鶯二つ (奉男)

運河沿ひに高層ビルや風光る (隆治)

エイプリルフルがん宣告を受けしこと (芙紗)

春場所や記録づくめの尊富士 (貴美)

天空に大粒の星春祭 (平六)

三の丸尚蔵館

光る君屏風におはす桜どき (正佳)

春塵や観音堂は薄紅に (正雄)